

LabSolutions





この文書をよく読んで正しくご使用ください。 いつでも使用できるように大切に保管してください。

はじめに	本ソフトウェアをご使用の前に、 取扱説明書を必ずお読みください。
	この取扱説明書には、本ソフトウェアの使用方法などについて記 載しています。この取扱説明書をよく読んでいただき、内容に従 って正しく使用してください。
	また、読み終わったあとも、この取扱説明書を本ソフトウェアとと もに大切に保管し、いつでも参照できるようにしてください。
	本書は Windows の基本操作をご理解いただいていることを前提 に記載されています。Windows の操作方法については、当該製 品に添付されている説明書などをご覧ください。
お願い	・本ソフトウェアの使用者または使用場所に変更がある場合に は、その変更先の使用者に必ずこの取扱説明書をお渡しくださ い。
	・この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、すみやかに 当社営業所または代理店に連絡してください。
	・本ソフトウェアを安全にお使いいただくために、据付・調整およ び移動後の再据付については、当社指定のサービス担当店に ご依頼ください。
おことわり	<ul> <li>・この取扱説明書の内容は改良のために、将来予告なしに変更 することがあります。</li> </ul>
	・この取扱説明書の内容は作成にあたり万全を期しておりますが、万が一、誤りや記載もれなどが発見されても、ただちに修正できないことがあります。
	・この取扱説明書の著作権は、株式会社 島津製作所が所有し ています。当社の許可なく内容の一部または全部を転載・複製 することはできません。
	・Microsoft、Windows、Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 その他、本書に掲載されている会社名および製品名は、それぞ れ各社の商標および登録商標です。なお、本文中には TM、(R) マークは明記していません。
	・Microsoft Windows 7 Operating System を Windows 7 と表記 しています。
	・本製品の補修部品の供給期間は、製品打ち切り後7年としています。この供給期間以降は、補修部品の供給にお応えできない場合があります。あらかじめご了承ください。ただし、当社の純正部品でないものは、製造した会社の定める供給期間とさせていただきます。

# 取扱説明書について

■取扱説明書の表記

表記	意味
❷ 注記	装置を正しくご使用していただくための情報を記載しています。
参照	関連した内容の参照先を示しています。
[]	ボタンやメニュー項目、設定項目、画面、アイコンの名称など画面 に表示されている文字を 示しています。
	例:[OK]をクリックする。

# 製品保証

当社は本ソフトウェアに対し、下記のとおり保証をいたします。

- 1. 保証期間 据付から起算して1年間といたします。(ただし、日本国内に限ります。)
- 2.保証内容 保証期間内に当社の責により故障が生じた場合は、その修理または部品の 代替を無償で行います(USBドングルを含む)。ただし、パーソナルコンピュー タおよびその周辺機器、部品など、市場において改廃期間の短い製品につ いては、同一の型式のものを提供できない場合があります。
- 3. 責任の制限 (1)いかなる場合にも、お客様の逸失利益、間接的損害、派生的な損害について、当社は一切責任を負いません。第三者からお客様に対してなされた損害賠償に基づく損害についても、当社は一切責任を負いません。

(2)当社の損害賠償責任は、いかなる場合にも、本製品の代金相当額をもってその上限とします。

**4. 保証除外事項** 保証期間内であっても、次に該当する故障の場合は保証の対象から除外させていただきます。

1) 誤ってお取り扱いになった場合

2)当社または当社指定会社以外で修理や改造などが行われたことに起因 する場合

3) 当社指定以外のハードウェアまたはソフトウェアとの組み合わせ使用による場合

4) コンピュータウィルスによって生じた装置の故障、基本ソフトウェアを含む ソフトウェアおよびデータの破損

5) 停電や電源の瞬時電圧低下を含む電源障害によって生じた装置の故 障、基本ソフトウェアを含むソフトウェアおよびデータの破損

6) 正常な終了手順によらずに、装置の電源スイッチを切断することなどによって生じた装置の故障、基本ソフトウェアを含むソフトウェアおよびデータの 破損

7) 故障の原因が機器以外の理由による場合

8) 高温多湿、腐食性ガス、振動など、過酷な環境条件の中でお使いになった場合

9) 火災、地震その他の天災地変、放射性物質や有害物質による汚染、および戦争や暴動、犯罪を含むその他の不可抗力的事故の場合

10)いったん据え付けたあと、移動あるいは輸送された場合

11)消耗品およびこれに準ずる部品

注意:フロッピーディスク、CD-ROM などの記録媒体も消耗品です。 \* 製品に保証書などの文書が添付されている場合、および保証事項を含む契約書が別途交わされている場合は、 それらの文書に記載された保証内容規定に従います。

\* 特別仕様品およびシステム品の場合は、別途保証期間を定めます。

© 2016 Shimadzu Corporation. All rights reserved.

# <目次>

1	概要	1
2	バージョンアップ手順	2
2.1	LabSolutions のアンインストール	2
2.2	バージョンアップツールの実行	2
2.3	LabSolutions のインストール	12
3	リカバリ手順	
3.1	SQL Server 2014 SP1 のアンインストール (LabSolutions DB の場合のみ)	13
3.2	以前のバージョンの LabSolutions のインストール	15
3.3	リカバリの実行	16

## 1 概要

バージョンアップツール(以下、本ツール)は LabSolutions DB/CS Ver.6.60 以前から Ver.6.70 以降へのバージョンアップに使用します。

本ツールはインストールディスクからのインストールにおいて自動的に起動しますので、それに従ってご使用ください。

#### [バージョンアップ時の注意事項]

本ツールはバージョンアップの失敗に備えて、データベースのバックアップを実行します。そのため、あらかじめバックアップを取得できるディスク空き容量を確保し、バックアップ用フォルダをご準備ください。

バックアップをスキップすることもできますが、その場合は市販のバックアップツール等、他の方法 でバックアップが取得できていることを必ずご確認ください。

#### ৶注記

バックアップには現在使用中のデータベースフォルダと同等のハードディスク容量が必要になります。

バージョンアップの所要時間が増加しますので、バージョンアップ中はウィルス対策ソフトウェアの リアルタイム監視等のプロセスを停止してください。

バージョンアップに失敗した場合は、すみやかに当社営業所または代理店にご連絡ください。

#### [SQL Server についての注意事項]

Ver.6.60 以前でインストールされた SQL Server 2005 Express/SQL Server 2008 R2 Express は自動的にアンインストールされ、SQL Server 2014 SP1 Express がインストールされます。 SQL Server 2008 R2 Standard、SQL Server 2014 Standard をお使いのお客様は、本ツールを実行する前に SQL Server を SQL Server 2014 SP1 Standard にバージョンアップしていただく必要があります。

#### [リカバリ時の注意事項]

バージョンアップが失敗した場合は、本ツールで取得したバックアップファイルからバックアップ前 の状態に復元(リカバリ)することができます。

本ツールでバックアップを取得していない場合は、リカバリすることができません。その場合は、市 販のバックアップツール等、他の方法で取得されているバックアップからシステム全体を復元して ください。

# 2 バージョンアップ手順

#### 2.1 LabSolutions のアンインストール

LabSolutions DB または LabSolutions CS の取扱説明書(据付・保守編)の「アンインストールする」の項を参照ください。

## 2.2 バージョンアップツールの実行

#### ■SQL Server の場合

- PC の電源を入れ、Windows が起動したら、ディスクドライブにインストールディスクを入れる。
   注記
  - [Autorun.exe]画面が自動起動しないときは、次の手順でプログラムを起動してください。 ここでは、ディスクドライブがEドライブのときの設定例です。「E:¥」の部分には、お使い の PC のディスクドライブのドライブ番号を設定してください。
    - (1) (スタート)メニューをクリックする。
    - (2) 「E:¥autorun.exe」を入力して、[Enter]キーを押す。

▶ 検索結果の続きを表示		
e:¥autorun.exe	×	シャットダウン 🕨
<b>@</b>		

(3) [自動再生]画面が表示された後、[Autorun.exe の実行]をクリックする。

🧈 自動再生 📃 📼 💌
DVD RW ドライブ (E:)
■ ソフトウェアとゲーム に対しては常に次の動作を行う:
プログラムのインストール/実行
Autorun.exe の実行 発行元は指定されていません
全般 のオプション ―――
<b>フォルダを開いてファイルを表示</b> ーエクスプローラ使用
コントロール パネルで自動再生の既定を設定します

2. [LabSolutions]をクリックする

🗣 LabSolutions Installer	×
LabSolutions	
LabSolutions	
Options	
	<b>閉じる</b>

3. [はい]をクリックする。

LabSolutions バージョンアップツール 🛛 🔀
() バージョンアップを行います。よろしいですか?
はい(Y) いいえ(N)

🕑 注記

既にバージョンアップ済みの場合は、LabSolutionsのインストールが開始されます。

4. [はい]をクリックする。

LabSolutions バージョンアップツール
・データのバックアップを行いますか?バックアップが無ければバージョンアップに失敗した場合、元に戻せません。
(はい(Y) いいえ(N) キャンセル

5. バックアップ先フォルダを指定し、[OK]をクリックする。

	バックアップフォルダを選択してください。
A	📃 デスクトップ
	▷ 浸 ライブラリ
E	> <u>]</u> admin
	⊿ 👰 コンピューター
	🛛 🚢 ローカル ディスク (C:)
	)) backup
	Dell
	퉬 Drivers
	🛛 📔 Hotfix
	🛛 📗 Intel
ОК <b>+</b> ө`у <del>1</del> 71,	Drivers     Drivers     Diffix     Diffix     Diffix     Diffix     Diffix     Thtel     Thtel

🕑 注記

バックアップにはデータベース作成フォルダと同じサイズのハードディスク容量が必要です。 外付けハードディスクなど十分な空き容量のあるハードディスクをご使用ください。

6. パスワード入力画面が表示された場合は"sa"ユーザーのパスワードを入力し、[OK]をクリッ クする。(LabSolutions CS の場合のみ)

データベース	へのログイン 🗖 🗉 💌
ユーザー:	sa
パスワード	•••••
	OK キャンセル

7. バックアップを開始します。

LabSolutions バージョンアップツール	×
バージョンアップモード	
Disconnect(Project) 4/13 Disconnect(Project) 5/13 Disconnect(Project) 6/13 Disconnect(Project) 7/13 Disconnect(Project) 8/13 Disconnect(Project) 9/13 Disconnec Disconnec	
Disconnec 142 / 10845 Backup(Pr 経過時間: 00:00:08 推定残り時間: 00:09:22	=
Backup(Project) 4/9 Backup(Project) 5/9 Backup(Project) 6/9 Backup(Project) 7/9 Backup(Project) 8/9 Backup(Project) 9/9 Backup(Directory)	-

🕑 注記

バックアップ時間はデータファイル 10,000 件(平均サイズ 1MB)につき、おおよそ9分です。

8. SQL Server をアンインストールします。(SQL Server 2005/2008R2 Express の場合)

#### [SQL Server 2005 Express の場合]

 (1) [MSSQLSERVER: Database Engine]を選択、[Workstation Components]にチェックをして、 [次へ(N)]をクリックする。

🐮 Microsoft SQL Server 2005 Uninstall 🛛 🛛 💽
Component Selection Select SQL Server 2005 components to uninstall.
To uninstall existing components, select components to remove and click Next.
🔽 Remove SQL Server 2005 instance components
Select an instance:
Remove SQL Server 2005 common components           Workstation Components
(
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

#### (2)[完了]をクリックする。

😋 Microsoft SQL Server 2005 Uninstall	<b>x</b>
<b>Confirmation</b> Verify SQL Server 2005 components to uninstall.	
The following components will be uninstalled from your machine. To proceed, click Finish.	
Database Engine: MSSQLSERVER     Workstation Components	*
	~
	4
< 戻る(B) 完了 キャンセル	ヘルプ

#### [SQL Server 2008 R2 Express の場合]

SQL Server 2008 R2 Express が自動的にアンインストールされます。

9. [はい]をクリックする。(SQL Server 2005/2008R2 Express の場合)



#### 少注記

ディスクドライブからインストールディスクを抜かないでください。

10. Windows が再起動したら、自動的に SQL Server 2014 SP1 Express のインストールが開始されます。(SQL Server 2005/2008R2 Express の場合)

🐔 SQL Server 2014 Setup		
Installation Progre	ss	
Install Setup Files Installation Progress	Generating ordered dependency feature list.	
	Next > Cancel	Help

### 11. バージョンアップを開始します。

LabSolutions バージョンアップツール	×
バージョンアップモード	
Connect(Project) 1/9	*
Connect(Project) 2/9 Connect(Project) 3/9	
Connect(Project) 4/9	
Connect(Project) 6/9	
Connect(Project) 7/9	
Connect(Pr	
Migration(P Migration(P	
Migration(P 174 / 10845	=
Total files: 経過時間: 00:00:38 推定残り時間: 00:27:52	
Missing files : U	
Migration(Project) 4/5 Total files : 11	
Import files : 11	
Missing files : 0 Migration(Project) 5/5	
	+

#### ৶注記

バージョンアップ時間はデータファイル 10,000 件(平均サイズ 1MB)につきおおよそ 22 分です。

12.[OK]をクリックする。



#### ■ORACLE の場合

- [Autorun.exe]画面が自動起動しないときは、次の手順でプログラムを起動してください。
   ここでは、ディスクドライブが E ドライブのときの設定例です。「E:¥」の部分には、お使いの PC のディスクドライブのドライブ番号を設定してください。
  - (1) (スタート)メニューをクリックする。
  - (2) 「E:¥autorun.exe」を入力して、[Enter]キーを押す。

▶ 検索結果の続きを表示		
e:¥autorun.exe	×	シャットダウン ・
<b>@</b>		

(3) [自動再生]画面が表示された後、[Autorun.exe の実行]をクリックする。

🧈 自動再生 📃 🗖 🗖 💌
DVD RW ドライブ (E:)
■ ソフトウェアとゲーム に対しては常に次の動作を行う:
プログラムのインストール/実行
Autorun <i>exe の実行</i> 発行元は指定されていません
全般 のオプション ―――
フォルダを開いてファイルを表示 -エクスプローラ使用
コントロール パネルで自動再生の既定を設定します

2. [LabSolutions]をクリックする。

LabSolutions Installer	
LabSolutions	
Options	

3. [はい]をクリックする。

LabSolutions バージョンアップツール
() バージョンアップを行います。よろしいですか?
[はい(Y) いいえ(N)

💋 注記

既にバージョンアップ済みの場合は、LabSolutionsのインストールが開始されます。

4. [はい]をクリックする。

LabSolutions バージョンアップツール
・データのバックアップを行いますか?バックアップが無ければバージ ョンアップに失敗した場合、元に戻せません。
はい(2) いいえ(2) キャンセル

5. バックアップ先フォルダを指定し、[OK]をクリックする。

1199.	アップフォルダを選択してください。	
	デスクトップ	
⊳ 🔓	🗃 ライブラリ	
Þ	🛃 admin	E
ار م	🖣 コンピューター	
4	🏝 ローカル ディスク (C:)	
	鷆 backup	
	> 퉬 Dell	
	鷆 Drivers	
	🛛 퉬 Hotfix	
	> 퉬 Intel	-

🖉 注記

バックアップにはプロジェクトデータベースとして使用するドライブの"LabSolutionsData"フォ ルダと同じサイズのハードディスク容量が必要です。外付けハードディスクなど十分な空き 容量のあるハードディスクをご使用ください。

6. バックアップを開始します。



🕑 注記

バックアップ時間はデータファイル 10,000 件(平均サイズ 1MB)につき、おおよそ9分です。

7. バージョンアップを開始します。

LabSolutions バージョンアップツール	×
バージョンアップモード	
Log to file : C:¥LabSolutions¥Log¥UpgradeTool.log	
Backup(Directory)	
Migration(Project) 1/8 Total files : 0	
Import files : 0	
Missing files : U Migration/Project) 0/0	
Total file	
198 / 10845	
経過時間: 00:00:46 推定残り時間: 00:15:05	
	-
	=
	-

৶注記

バージョンアップ時間はデータファイル 10,000 件(平均サイズ 1MB)につきおおよそ 13 分です。

8. [OK]をクリックする。



2.3 LabSolutions のインストール

LabSolutions インストーラが自動的に起動します。LabSolutions DB または LabSolutions CS の取扱説明書(据付・保守編)の「インストールする」の項を参照してください。

∥ 注記

データベースの作成は実行しないでください。

# 3 リカバリ手順

SQL Server のアンインストール前に LabSolutions のアンインストールが必要です。 [Autorun.exe]からは実行できません。[Autorun.exe]が自動起動した場合は、[閉じる]をクリック してください。

- 1. PC の電源を入れ、Windows が起動したら、ディスクドライブにインストールディスクを入れる。
- 2. (スタート)メニューをクリックする。

3. 「E:¥versionuptool¥lssdatabaseversionuptool.exe」を入力して、[Enter]キーを押す。

🖉 注記

ディスクドライブが E ドライブのときの設定例です。「E:¥」の部分には、お使いの PC のディ スクドライブのドライブ番号を設定してください。

▶ 検索結果の続きを表示	
ptool¥lssdatabaseversionuptool.exe ×	シャットダウン ▶
<b>3</b>	

[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

🚱 ユーザー アカウント制御 💦 💌	
<ul> <li>プログラム名: [LSSDatabaseVersionUpTool.exe]</li> <li>確認済みの発行元: Shimadzu Corporation</li> <li>ファイルの入手先: このコンピューター上のハード ドライブ</li> </ul>	
◆ 詳細を表示する( <u>D</u> )     (はい(Y)     しいいえ(N)	
<u>これらの通知を表示するタイミングを変更する</u>	

4. [SQL Server 2014 SP1 アンインストール]を選択し、[次へ(N)]をクリックする。

LabSolutions バージョンアップツール	×
バージョンアップを行います データベースの預業員・SOL Server	
◎ バージョンアップ	
バージョンアップに失敗した場合のリカバリを行います	
◎ リカバリ	
◎ SQL Server 2014 SP1 アンインストール	
次へ(N) キャンセル ヘルプ	

5. [はい]をクリックする。

LabSolutions バージョンアップツール	83
SQL Server 2014 SP1 のアンインストーラーを起動します。よろし いですか?	
(はい()) いいえ(N	)

6. SQL Server 2014 SP1 のアンインストールを開始します。

켰 SQL Server 2014 Service Pao	*1のアンインストール
削除の進行状況	
削除の進行状況	インスタンス MSSQLSERVER: 'MSSQLSERVER' を更新しています: ValidationTimingConfigAction ConfigEvent_SQL_Engine_Core_Inst_sql_engine_core_inst_Cpu32_RemovePatch_ShutdownIn stance_premsi
	たいへ いせくサキ < (M) × (M)

7. [はい]をクリックする。

LabSolutions バージョンアップツール 🛛 🛛 🕅
① コンピュータを再起動します。再起動後に以前のバージョンの LabSolutionsをインストールしてください。
はい(2) いいえ(1)

3.2 以前のバージョンの LabSolutions のインストール

LabSolutions DB または LabSolutions CS の取扱説明書(据付・保守編)の「インストールする」 の項を参照してください。

*例* 注記

データベースの作成は実行しないでください。データベースの作成を実行すると、正しく復元 されません。

## 3.3 リカバリの実行

### 🕖 注記

[Autorun.exe]からは実行できません。[Autorun.exe]が自動起動した場合は、[閉じる]をクリック してください。

リカバリは LabSolutions のサービスプログラムが停止した状態で実行してください。

サービスプログラムの状態については、デスクトップ画面の右下の通知領域に表示されている アイコン色をご確認ください。

(起動している場合)	(停止している場合)
11:55	11:56
() () () () () () () () () () () () () (	2016/01/:

サービスプログラムが起動している場合は、[スタートメニュー]-[コントロールパネル]-[管理ツ ール]-[サービス]を起動し、[LSSService]を停止してください。

#### ■SQL Server の場合

- 1. PC の電源を入れ、Windows が起動したら、ディスクドライブにインストールディスクを入れる。
- (スタート)メニューをクリックする。
- 3. 「E:¥versionuptool¥lssdatabaseversionuptool.exe」を入力して、[Enter]キーを押す。
- 🕖 注記

ディスクドライブがEドライブのときの設定例です。「E:¥」の部分には、お使いのPCのディスクド ライブのドライブ番号を設定してください。

ptool¥lssdatabaseversionuptool.exe ×	シャットダウン 🕨
<b>2</b>	

[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

😵 ユーザー アカウント制御	<b>X</b>
🥡 次のプログラムにこのコンピュー	ターへの変更を許可しますか?
プログラム名:       [LS:         確認済みの発行元: Shin         ファイルの入手先: この	5DatabaseVersionUpTool.exe] madzu Corporation コンピューター上のハード ドライブ
<ul> <li>詳細を表示する(<u>D</u>)</li> </ul>	(はい(Y) しいいえ(N)
Zhoo	D通知を表示するタイミングを変更する

4. [リカバリ]を選択し、[次へ(N)]をクリックする。

LabSolutions パージョンアップツール	×
バージョンアップを行います データベースの種類 : SQL Server	
◎ バージョンアップ	
バージョンアップに失敗した場合のリカバリを行います	
<ul> <li>● リカバリ</li> <li>● SQL Server 2014 SP1 アンインストール</li> </ul>	
次へ(N) キャンセル ヘルコ	1

5. [はい]をクリックする。



6. バックアップ先フォルダを指定し、[OK]をクリックする。

フォルターの参照	×
バックアップフォルダを選択してください。	
📃 デスクトップ	<u> </u>
▶ 🍃 ライブラリ	
🛛 🕞 🛃 admin	=
▲ 1 コンピューター	
▲ 些 ローカル ディスク (C:)	
backup	
Dell	
Drivers	
D 📙 Hotfix	
🛛 🕞 Intel	-
新しいフォルダーの作成(N) OK キャン	セル

7. リカバリを開始します。

LabSolutions バージョンアップツール	×
リカバリモード Recovery(Project) 1/9 Recovery(Project) 2/9 Recovery(Project) 3/9 Recovery(Project) 4/9 Recovery(Pro Recovery(Pro Recovery(Pro Recovery(Pro Connect(Project) 3/9 Connect(Project) 3/9 Connect(Project) 3/9 Connect(Project) 5/9 Connect(Project) 5/9 Connect(Project) 6/9 Connect(Project) 7/9 Connect(Project) 8/9 Connect(Project) 8/9 Connect(Project) 8/9 Connect(Project) 9/9 Recovery(Directory)	4

8. [OK]をクリックする。



9. PCを再起動する。

#### ■ORACLE の場合

- 1. PC の電源を入れ、Windows が起動したら、ディスクドライブにインストールディスクを入れる。
- 2. (スタート)メニューをクリックする。
- 3. 「E:¥versionuptool¥lssdatabaseversionuptool.exe」を入力して、[Enter]キーを押す。
- *例* 注記

ディスクドライブがEドライブのときの設定例です。「E:¥」の部分には、お使いのPCのディスクド ライブのドライブ番号を設定してください。

♀ 検索結果の続きを表示	
ptool¥lssdatabaseversionuptool.exe ×	シャットダウン ▶
<b>8</b>	

[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

🛞 ユーザー アカウント制御
<ul> <li>プログラム名: [LSSDatabaseVersionUpTool.exe]</li> <li>確認済みの発行元: Shimadzu Corporation</li> <li>ファイルの入手先: このコンピューター上のハード ドライブ</li> </ul>
✓ 詳細を表示する( <u>D</u> )
<u>これらの通知を表示するタイミングを変更する</u>

4. [リカバリ]を選択し、[次へ(N)]をクリックする。

LabSolutions バージョンアップツール	×
バージョンアップを行います	
データベースの種類: Oracle	
◎ バージョンアップ	
バージョンアップに失敗した場合のリカバリを行います	
● リカ/ Ÿリ	
◎ SQL Server 2014 SP1 アンインストール	
次へ(N) キャンセル ヘルプ	

5. [はい]をクリックする。

LabSolutions バージョンアップツール 🛛 🛛 🛛
① バックアップからデータを復旧し、旧バージョンに戻します。よろし いですか?
はい(Y) しいいえ(N)

6. バックアップ先フォルダを指定し、[OK]をクリックする。

フォルダーの参照	×
バックアップフォルダを選択してください。	
<b>デスクトップ</b>	<u> </u>
▶ 🧊 ライブラリ	
b 🔒 admin	=
⊿ 🖳 コンピューター	
🛛 🚢 ローカル ディスク (C:)	
👪 backup	
Dell	
) Drivers	
🛛 📔 Hotfix	
🛛 🌆 Intel	-
	*****
	ai ai

7. リカバリを開始します。

LabSolutions バージョンアップツール	×
リカバリモード	
Log to file : C:¥LabSolutions¥Log¥UpgradeTool.log Recovery(Project)	•
20055 / 10015	
30057 10845 经過時期: 00:02:26 推定残11時期: 00:06:10	
	4 III

8. [OK]をクリックする。



9. PCを再起動する。